

平成 28 年度 倫理研究会開催案内

『東日本大震災における良好事例からの検討』 ー原子力学会倫理委員会作成の事例集を用いたケーススタディー

日本原子力学会倫理委員会

倫理委員会では、2011 年 3 月に発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故後、学会の定款改定などを経て、2014 年 5 月に倫理規程の全面改定を行いました。その際、行動の手引 5-5（経験からの学習と技術の継承）において、「事故や故障の経験からは、失敗事例のみならず良好事例についても研究し、その再発防止および類似の事故や故障の未然防止」に努めることを求め、また、その後発刊した 4 冊目となる技術者倫理事例集では、過去 3 冊と異なり良好事例を主体にまとめました（収められている 6 事例は、東日本大震災に関連する実事例）。

今回の研究会では、なぜ倫理委員会が良好事例にも注目すべきと考えるのか。さらに、参加者に、実際に良好事例を用いたケーススタディーを行っていただくと同時に、技術者倫理能力向上を目指した教育として扱う事例が、良好なものと失敗のものでは、どのような違いがあるか。今後どのような教育方法が適切であるかを議論する予定です。

多くの方のご参加をお待ちしております。

- ◎ 本研究会は、原子力学会教育委員会で進めている CPD プログラムの 1 つとして推奨されておりますので、日本原子力学会の会員番号*を提示いただきました個人会員の方には、後日、実施証明書と CPD 登録実績証明書をお送りします（会員番号は、学会誌送付の封筒の宛名書きにある 7 桁の数字です。頭のゼロ(複数の場合あり)も含まれますのでご注意ください）。

日時：平成 29 年 2 月 21 日(火) 13:30-17:00（受付開始 13:10）

場所：東京大学本郷キャンパス工学部 8 号館 5 階 502 号室

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_01_j.html

プログラム：

- | | |
|-------------|------------------------------------|
| 13:30-13:35 | 開会挨拶 三村靖（倫理委員会副委員長） |
| 13:35-14:20 | 倫理委員会での検討の紹介ー倫理規程改定と良好事例の意義ー |
| 14:20-15:10 | 事例集から事例の紹介およびケーススタディ① |
| 15:10-15:20 | （休憩 10 分） |
| 15:20-16:20 | 事例集から事例の紹介およびケーススタディ② |
| 16:20-16:55 | ディスカッション：良好事例によるケーススタディによって何が変わるのか |
| 16:55-17:00 | 閉会挨拶 宇奈手一之（倫理委員会幹事） |

参加費：一般 3000 円 学生 1000 円 当日会場受付にて承ります。

尚，参加費は事例集付きの金額となっております。事例集を既にご購入いただいている方は，申し込み時にその旨お申し出の上，当日ご持参ください。1000 円引きとさせていただきます。

申込先・問合せ先：日本原燃株式会社 監査室 監査部 品質監査グループリーダー 原田 浩行 (hiroyuki.harada@jnfl.co.jp)

申込は、『平成 29 年 2 月 21 日開催倫理研究会参加申し込み』と標題を付けて，下記事項を記載ください。

***** (平成 28 年度倫理研究会参加申し込み) *****

氏名：

原子力学会会員番号：

※ 会員で会員番号が不明の方は「不明」、非会員の方は「非会員」とお書きください

所属：

区分： 一般 ・ 学生

連絡先：電子メール；

電話；

申し込み期限：平成 29 年 2 月 7 日(火) 午後 17:00

以上，よろしくお願いいたします。